令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　16　日　作成

事務事業名	暴力追放・生活安全推進住民会議補助事業	事務事業No.	632 - 1

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
総務部	防災安全課	消防安全係	主任	中川　泉	課長	吉原　寿

施策体系				
総合計画	政　策	6	都市基盤・生活基盤
	施　策	3	生活安全の向上
	基本事業	2	防犯意識の高揚
その他の計画	個別計画		－

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市補助金等交付規則、飯塚市安全・安心まちづくり条例				
事業開始年度	昭和57年	事業終了年度	－	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		飯塚地区暴力追放・生活安全推進住民会議が安全で安心して生活することができる良好な地域社会の実現をめざすために実施する各種事業に対して支援するもの。
対象	働きかける相手・もの	飯塚市暴力追放・生活安全推進住民会議
手段	方法・働きかけ（活動指標）	補助金の交付
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	地域防犯力の向上を図るために実施する住民大会・研修会の周知、及び防犯資器材の貸与手続等の事業の支援を行う。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
補助金	円	－	520,000	520,000	520,000

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

					前年度実績	本年度実績	次年度見込
指標	住民総決起大会の開催	単位	達成目標値				
		人	500	目標値	500	500	500
説明	暴追大会の実施	方向性	達成目標年度	実　績	350	200	
		維持	毎年度				
指標	資機材の貸与件数	単位	達成目標値				
		増加	申請貸与件数	目標値	20	20	20
説明	要望件数が目標値（貸与件数が実績のため、毎年度変動）	方向性	達成目標年度	実　績	22	1	
		増加	毎年度				
指標		単位	達成目標値				
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	義務的経費	特別会計	－
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 14 諸費
	大 1 防犯対策事業費	中 11 暴力追放・生活安全推進住民会議補助金交付事業費	他 0	事業

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員	0.24	人	1,955	0.26	人	2,208		0.26	人	2,208
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.20	人	686	0.20	人	732		0.20	人	732
人件費計（A）				2,641			2,940	－			2,940
事業費	直接事業費（B）			520			520				520
	総事業費（A＋B）			3,161			3,460				3,460
直接事業費のうちの主な歳出内訳	負担金補助及び交付金			520			520				520
	－			0			0				0
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
	国・県支出金			0			0				0
	市債			0			0				0
	一般財源			3,161			3,460				3,460
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	安全で安心して生活することができる良好な地域社会の実現するためであり、飯塚市暴力追放・生活安全推進住民会議の活動が「犯罪が起きにくいまちづくり」に寄与しており、市が関与することは妥当である。
効率性評価	高い	飯塚地区の防犯に対する啓発活動を専門的に行い、また飯塚警察署の生活安全課と行うことで効率性が図られる。飯塚地区防犯協会事業、安全・安心まちづくり推進協議会運営事務事業と重複する点については、今後効率化、省略化を図る余地がある。
有効性評価	高い	資材貸与した防犯団体が増えることで、地域防犯の向上を図ることが出来たため、成果は得られた。貸与数も想定よりも増えニーズがあるといえる。「犯罪が起きにくいまちづくり」を目指して事業が実施されているため、引き続き事業の有効性はある。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	暴力団追放の内容だけでなく身近な犯罪や若年世代の参加意欲を引き起こす「こどもに関する事案」、「身近な犯罪対策」といった内容を取り入れ大会に参加してもらう人数を増やす工夫をする。
一次評価	拡充		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	－
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

高齢者を狙った詐欺だけでなく、若者をターゲットをした詐欺や犯罪などが増え、その被害も大きくなっているのでその啓発として寸劇を交えた講演をして周知啓発を行った。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　飯塚管内で多発する様々な詐欺に対する啓発活動を行った。

【課題】　国政選挙と時期が被ってしまい、従事者や参加者の協力を仰ぐことがなかなか難しかった。参加人数も昨年県と合同開催した時よりも減ってしまったので多くの人が参加する大会にしていきたい。暴力団員も年々減ってきているが、水面下で暴力団が絡む犯罪などが増えているのでそういった犯罪抑止の啓発を考えていかなければならない。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
拡充	今後も暴力団排除を掲げて、地域防犯力の向上を図るために実施する住民大会・研修会の周知、及び防犯資機材の貸与手続等の事業の支援を行っていく。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	コストをこれ以上かけずに広く効果のある啓発をしていく。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	暴力団追放の内容だけでなく身近な犯罪や若年世代の参加意欲を引き起こす「こどもに関する事案」、「身近な犯罪対策」といった内容を取り入れ大会に参加してもらう人数を増やす工夫をする。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	－

2次評価（最終評価）	成果の方向性	官民が積極的に暴力追放に取り組んでいることを発信する場であり、住民大会を行う一定の必要性は理解できることから、一旦現状維持とする。一方、イベント自体も過去のような来場者数は見込めないことから、大会の在り方の見直しを実施し、規模の縮小等に向けた検討・見直しが必要であると考える。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	大会の在り方を見直すことで、コストの縮小が可能であると考えられる。消耗品や印刷物等の支出についても、購入方法の見直しを行うことで、大幅な圧縮が可能と推察する。
	縮小	